

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の 利用目的及び 利用方法	研究の名称 腎癌肺転移切除例の多施設後方視的研究
	研究の対象 腎がんの転移性肺腫瘍に対して肺切除術を施行した方 本学においては、2010年以降に腎がんの転移性肺腫瘍に対して肺切除術を施行した方
	研究の目的 肺は腫瘍の転移を起こしやすい臓器の一つです。腎癌の転移性肺腫瘍に対して手術を行うときに、どういう特徴のある患者さんに治療のメリットが有るか、またどのような手術を行うのが良いか、といった詳細な点までは明らかになっていないのが現状です。これらの患者さんのデータを検討し、どういう患者さんに手術をするのが的確なのかを検討します。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2024年12月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では当科で行っている「転移性肺腫瘍に対する肺切除症例データベース作成のための多施設共同コホート研究」に登録した症例を含む、転移性肺腫瘍研究会に蓄積された臨床データを用いて検討します。 データの提供は、インターネット上の安全なサーバーに登録されます。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者・研究分担者が保管・管理します。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報 カルテからの診療情報： 性別、生年月日、原発臓器、組織型、病期、原発臓器に対する治療内容（手術年月日、術式、根治度、手術以外の治療開始日、治療内容）、肺転移術前の再発・転移の有無および治療内容、肺転移の発見日、発見動機、個数、腫瘍マーカー値、肺転移に対する治療内容、最終生存年月日、転帰、初回肺術後再発の有無、死因、の各項目</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>研究責任者 浜松医科大学 外科学第一講座 呼吸器外科 病院教授 船井和仁</p> <p>共同研究機関の名称及び研究責任者 帝京大学医学部外科学講座 主任教授 川村雅文 他、 転移性肺腫瘍研究会 参加施設 2 3 機関</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>研究責任者 浜松医科大学 外科学第一講座 呼吸器外科 准教授 船井和仁</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
問い合わせ先	<p>(共同研究機関においては、浜松医科大学の連絡先を削除し、適宜自機関の連絡先をご記載ください) 〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 外科学第一講座 呼吸器外科 担当者： 川瀬 晃和 TEL： 053-435-2276 E-mail： akawase@hama-med.ac.jp</p>